

校長室だより

岸和田市立浜小学校

渡瀬 克美

「学級びらき」以降1か月余りが過ぎました。

子どもたちは新しい先生やクラスに慣れてきたでしょうか？

新しい学級がスタートしてから1か月余り経ちました。そろそろ、子どもも先生も少し疲れてくる頃です。子どもたちは新しいクラス・新しい先生との関係で気をつかい、先生は家庭訪問が終わり、クラス経営がうまくいっているだろうか？子どもたちは授業が分かっているだろうか？友達関係で悩んでいないだろうか？など心配は絶えません。

そんなとき「子どものことは子どもに聞くのが一番」です。

《学級通信から》紹介します。

道徳の時間に、『今のクラスのよいところと課題』を子どもたちに書いてもらったクラスより。

《良いところ》

- ・そうじをほぼみんながやっている。・ケンカが少なくなった。・給食を仲間外れなしで食べれる。・給食みんなで楽しく仲良く食べている。・楽しく授業ができる。
- ・先生がおもしろい。・先生も子どもも仲がいい。・みんな遊びの時もめめることなく楽しく遊んでいる。・ほとんどの人が勉強を前より頑張っている。・みんないっぱい手を挙げている。・朝学もだいたいの人がまじめにするようになった。など

《課題》

- ・授業中たまにしゃべる。たまに立ち歩いている。・チャイムが鳴っても席についていない。・集会や朝会に行くのが遅い。・先生の言ったことを何回も聞き返す。
- ・ちょっとしたことでケンカする人がいる。・物や宿題をよく忘れる。
- ・みんな遊びなのに、みんな遊びじゃなくなっている。など

次に、アンケートを子どもたちに書いてもらったクラスを紹介します。

(通信の文章そのまま)

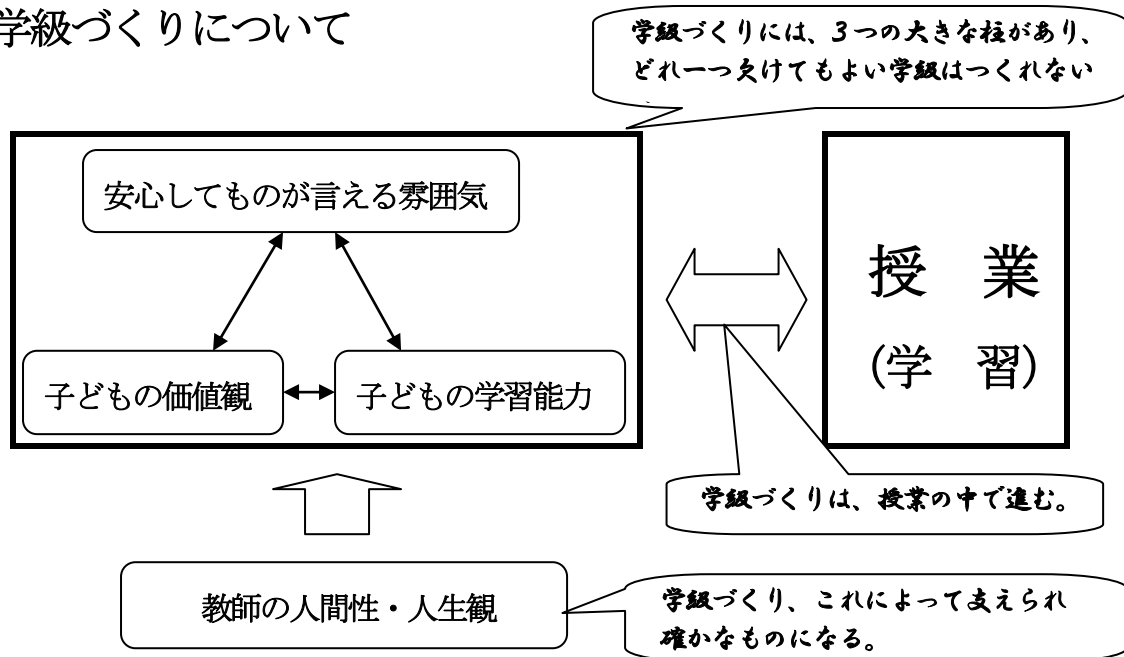
- ・「学校は楽しいですか？」の質問にほとんどの人が「とても楽しい」「楽しい」に○をつけてくれていて安心しました。
- ・このクラスのいいところは？という質問には「やさしい、明るい、元気」が多かったです。
- ・「担任の先生の第一印象は？」で一番多かったのは、「おもしろそう、こわそう」で今の印象は？で一番多かったのは、「おもしろいけどこわいときもある、まじめ」でした。



どの学年・どのクラスも、方法はちがっても、子どもの気持ちを丁寧に掘り起こし、子

子どもの気持ちに寄り添いながら学級づくりを進めて参りたいと考えています。クラスづくりは信頼が基本です。先生と子どもが命令の関係ではなく、納得した合意で笑顔の関係を大切にしていきたいと考えています。お気づきのことがあれば、ぜひ担任までご連絡いただきますようお願いいたします。学級づくりでは下の図のようなことが大切だと考えています。

学級づくりについて

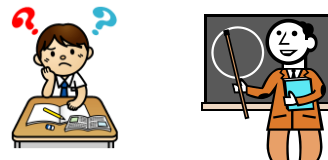


『図の出典 2010年度指導の手引 授業研究会の会』より

先日、校内研究全体会議がありました。今年度も算数科を研究します。全クラスの公開授業が1週間かけておこなれ、その授業についての全体討議会でした。

授業を（学習）を観る視点は次のとおりです。

- ①学習課題は児童にとって適当であったか。
- ②児童が自分で考えようとしていたか。
- ③発表の様子はどうであったか。
- ④話し合いの焦点はどうだったか。
- ⑤振り返り（わかったこと、分からなかったこと、友達の意見を聞いての感想など）は書けていたか。



等について、侃侃諤々（かんかんがくがく）論議しました。まだ、クラスもスタートしたばかりです。完璧など求めているわけではありません。子どもたちに「考える」人に、「話し合える」人に、「分かったことを自分の言葉で言える」人に。そんな人に育ててほしいという願いで、先生の指導の仕方（関わり方）について、これから1年間かけて研究して参りたいと考えています。年度末には、少しでも、コミュニケーション力のある子どもに育ててほしいと願っています。新教育課程の始まる今年度、教科書が3割増え、先生も子どもも大変です。「教科書『を』教える教育から」「教科書『で』教える教育」の意味を問い直しながら、「学級づくり」と「授業づくり」は切っても切り離せない関係であることを再認識した全体会議でした。子どもたちの学びについても、子どもたちへの励ましや学校へのご支援とご協力よろしくお願ひいたします。